

松野集

春下

土岐文庫

文庫17

W46

2



文庫 17
W46
2

湖邊花	水三花	行路花	山花	霞陽山花	花深山氣色	深山櫻	花下送日	燈籠花	雨催花
海邊花	水邊花	園路花	古溪花	暮山花	遠山花	山花	花下忘歸	園夜花	雨中花
河上花	花點浮水	名所花	旅客見志	分花入山語	深山花	山花盛	野花	深秋花	雨後花
池上花	花數寫水	志賀花園	羈旅花	山路花	望山花	滿山花	山櫻	曙花	夕花
庭花	花滿澗水	志賀山越	旅宿花	山花不散風	遠望山花	每山花盛	遠山梅	朝花	夜花

春下目錄

昭和六十年二月一日
土岐善吾氏寄贈

010185194863

閑居花	鄰花	社頭花	花交松	依花待人	花苗客	花友	花使	花下
隣花	禁庭花	花所	竹間花	依花待客	山花苗人	花作春友	花主	花根
里花	古京花	松邊花	松間花	依花待友	行人留花	花宴	花宿	花枝
田家花	故鄉花	松間花	柳邊花	依花客來	尋花會友	花前興	花木	不梢
山家花	古宅花	花隔松	家花勝他花	花時客來	花下惜友	櫻狩	花本	花乞
						尚齒會		
						對花聊老		
						花忘愁		
						花使		
						花忘老		
						老後花		
						老賞心		
						花下		

花句	花鏡	花枝	心花	花手向	花易散	年々惜花	雨中惜花	總見落花	落花多	落花滿山
花與春句	花浪	花摘	花面歎	花面歎	花年落	惜花經年	老人惜花	落花	落花堆	暮落花
花露	花淵	花苞	花形見	花欲移	無風散	對月惜花	老惜花	惜落花	落花處々	暮落花
花可去也	花錦	花顏	形見花	花將散	惜花	晝夜惜花	替身惜花	憐落花	山落花	台落花
花筵	花衣	花心	花麻	花漸稀	貴賤惜花	對客惜花	惜花切	落花難駐	深山落花	樹陰落花

苔上落花 山路落花 落花滿路 行路落花 關路落花
 名所落花 水上落花 落花浮水 河上落花 溪上落花
 湖上落花 海邊落花 禁庭落花 古宮落花 故鄉落花
 舊宅落花 庭前落花 落花滿庭 夜庭落花 閑庭落花
 見花不掃庭 山居落花 田家落花 山寺落花 社頭落花
 曉落花 朝落花 暮落花 夜思落花 夢中落花
 月前落花 風前落花 落花隨風 風後落花 雨中落花
 雨後落花 落花似雪 花不殘 花落枝綠 見落花
 落花散衣 花落頭 落花留客 花落客稀 落花
 思殘花 尋殘花 花僅殘 遠尋落花 殘花風芳
 霞藏殘花 閨內花 寄花離別 花前別人 寄花懷

花前述懷 寄花述懷 花寄幽思 花催懷舊 花寄懷舊
 寄花懷舊 寄花神祇 寄花釋教 花前忘帶 寄花無帶
 見花觀江 花祝 寄花祝 花有喜色 花佳色
 花色春久 花契萬年 花契返年 花契及春 每春花芳
 年之花珍 逐年花勝 花思來年 花思來年 花自有情
 心在 春情寄花 春情之花 花時心不靜 入道見花
 花駭定心 花下延思 花下言志 對花思西 花如舊日
 依花忘家 花有遲速 花來忘 雜花 野遊
 野遊至暮 燈日 春日 春興 春後春興
 春眺望 海上春望 湖上春望 水鄉春望 春日望山
 山中春望 旅中春望 二日 二日宴 曲水宴

山吹散	山中振	岸山吹	栽山吹	山振 <small>山吹同</small>	水邊躑躅	雨中苗代	夕蛙	澤蛙	故郷董	桃花
葵子花 <small>カキコ</small>	名所山振	島山振	河邊山吹	思山吹	山躑躅	寄苗代述懷	夜蛙	川蛙	荒砌董	牡丹
藤花	雨中山吹	里山吹	水邊山吹	山吹盛	巖上躑躅	安 <small>アビ</small>	名所蛙	井蛙	古宅董	董
紫藤	暮春山振	幽居山振	山吹写水	翫山吹	岡躑躅	躑躅	苗代	田蛙	摘董	雨中董
雨中藤花	惜山吹	故郷山振	水底山吹	折山吹	夕見躑躅	浦躑躅	山田苗代	水邊蛙	蛙	野董

岸藤 <small>の</small> 花	藤懸松	翫藤花	藤花久白	暮春	暮春雨	暮春鳥	水郷暮春	名所暮春
浦藤	藤花花松	藤花苗客	藤花年久	暮春待人	暮春風	暮春喜鸞	川暮春	幽居暮春
山藤	紫藤藏松	藤花宴	暮春藤花	暮春落花	暮春霞	暮春野公	田家暮春	惜暮春
森藤	藤為松花	折藤	藤花散	暮春殘花	暮春雲	海邊暮春	山家暮春	暮春述懷
松 <small>の</small> 花	藤為松衣	挿頭藤	寄藤述懷	暮春日	暮春月	江上暮春	暮春山	暮春幽思
池邊藤花	禁庭藤花	紫庭藤花	藤花味水	橋 <small>の</small> 藤花	暮春藤花	暮春藤花	暮春藤花	暮春藤花

惜春	兼惜春	殘春日少	三月盡	江邊三月盡	閏三月盡	春天象	春夜	深山春	春野之々	里春
年之惜春	惜春不駐	春殘二日	二月盡夕	海路三月盡	二月盡迷懷	春日	春夢	每山有春	春行路	故鄉春
依花惜春	惜春非一	歲時春尚少	三月盡夜	行路三月盡	春風	春重	春夕	春嶺	春聞路	春聞居
寄花惜春	惜春送年	又發生始晦日	惜三月盡	故鄉三月盡	山春風	春煙	春朝	春松	社頭春	春山居
老人惜春	殘春		二月盡花	山家三月盡	春嵐	春露	春山	春野	都春	春山家

山家春興	春隣家	春田家	春田	春橋
春川	春庵	春江	春海邊	春浦
春磯	春海路	春水路	春池	春池浪靜
春浪	春忘憂	春植物	春木	松添春色
松有春色	芦笋	春獸	春鳥	春魚
春虫	春人	春主	春心	春意
春聲	春色	春香	春春雜物	春杖
春車	春舟	春衣	春取見	春苞
春旅	春鴉宿	春燕行	春春雨	春遠情
春迷懷	春思	春懷舊	春釋教	春神社
春手向	春祝	春山望人	春人事	春月

春下目五

二月

三月

閏三月

松竹梅集巻之二

春之部下

雨催花

雨催花



夕花

夕花

花

花

花

初 霞くくわらぬ雨やど小花は枝のかきかたじけなく
 後 春の花は枝よりまらぬ程こそぬれぬ香もは弱家
 花 梅枝のやうなぬ同くはゆると花の法は遅れそ
 初 小梅袖小むしと梅もそ花は来小まてぬれぬ
 代 雨の中小花は枝に花梅打てまゝ人袖はゆるぬれ
 代 小梅をのう下は雨のゆるぬれぬ小梅はゆるぬれ
 代 小梅は梅と雲とまらぬる小梅はゆるぬれぬ
 全 雨はゆるぬれぬ花は夕暮の梅ゆるぬれぬ
 初 花はゆるぬれぬ花はゆるぬれぬ花はゆるぬれぬ
 花 花はゆるぬれぬ花はゆるぬれぬ花はゆるぬれぬ
 代 花はゆるぬれぬ花はゆるぬれぬ花はゆるぬれぬ
 代 花はゆるぬれぬ花はゆるぬれぬ花はゆるぬれぬ

春下

晴事

おり

讀人不識

生信

空程

安ん

あき改

伊前

俊生女

魚津之方

花山院

水園并

花乳浮水

香肉湖水

湖田并

海色并

後境
あふ来ぬ人もをよと梅花の如くよよをてが舞の

金
水のあふ来ぬはむ花はるるを初て凡へんりる

初
此の江の岸は梅の花もあふ来ぬをよよとて

後
流れるあふ来ぬもよよとて花の色は見え

月
物にあらぬりあはれんをよよとて花の色は見え

古
梅の花は流るる花はあふ来ぬをよよとて

續
あふ来ぬ花の流るる花はあふ来ぬをよよとて

月
軟法花の流るる花はあふ来ぬをよよとて

日
此の江の岸は梅の花もあふ来ぬをよよとて

代
浦をく梅花の流るる花はあふ来ぬをよよとて

赤言

本通

淨受

赤言

見地

以可

寶中

香園左在

柱外

色經

河後

頼政

と志

河上并

他上在

初
此の江の岸は梅の花もあふ来ぬをよよとて

代
浦をく梅花の流るる花はあふ来ぬをよよとて

日
此の江の岸は梅の花もあふ来ぬをよよとて

金
水のあふ来ぬはむ花はるるを初て凡へんりる

初
此の江の岸は梅の花もあふ来ぬをよよとて

後
流れるあふ来ぬもよよとて花の色は見え

月
物にあらぬりあはれんをよよとて花の色は見え

古
梅の花は流るる花はあふ来ぬをよよとて

續
あふ来ぬ花の流るる花はあふ来ぬをよよとて

月
軟法花の流るる花はあふ来ぬをよよとて

日
此の江の岸は梅の花もあふ来ぬをよよとて

代
浦をく梅花の流るる花はあふ来ぬをよよとて

西り

定家

國臣

後天不知

娘河院

後忠

院忠朝

実隆

西園寺入在

つと

実隆

松原武部

後隆

忠見

春下

春下五

花作英友

兼家

玉子真

梅竹

老見弟
老見弟
老見弟

金 花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
内大臣

木 花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
國信

代 花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
基俊

後 花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
兼家

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
九条左大臣

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
も実

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
徳大寺左大臣

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
元輔

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
若心

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
法性左大臣

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
とみ人か

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
俊和

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
俊人か

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
友則

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
友則

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
入道左大臣

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
純信

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
隆重

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
兼棟

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
杖幹

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
基七

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
又つぬ

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
半仲

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
後法大寺

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
公宗左大臣

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
俊成

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
法純

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
法全和

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
法全和

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
法全和

花のうまは花の友とて色あざりて花より後のまゝ人かぶらば
法全和

老見弟

尚書會

老見弟
老見弟
老見弟

不願光ヲ

花志ル花ヲ

兼俊

香使

花主

兼高

花志花ヲ兼俊 兼高 香使 花主 兼高

兼俊 兼高 香使 花主 兼高

兼俊 兼高 香使 花主 兼高

兼俊 兼高 香使 花主 兼高

兼俊 兼高 香使 花主 兼高

兼俊 兼高 香使 花主 兼高

兼俊 兼高 香使 花主 兼高

花本

兼下

不根

不枝

兼指

不名

花白

不与兼白

花本 兼下 不根 不枝 兼指 不名 花白 不与兼白

花本 兼下 不根 不枝 兼指 不名 花白 不与兼白

花本 兼下 不根 不枝 兼指 不名 花白 不与兼白

花本 兼下 不根 不枝 兼指 不名 花白 不与兼白

花本 兼下 不根 不枝 兼指 不名 花白 不与兼白

花本 兼下 不根 不枝 兼指 不名 花白 不与兼白

花本 兼下 不根 不枝 兼指 不名 花白 不与兼白

夜ふけ花

月あけ花

風あけ花

花あけ花

花あけ花

花あけ花

夜ふけ花は花はむ梅の花は花はむなるなり

月あけ花は花はむ梅の花は花はむなるなり

風あけ花は花はむ梅の花は花はむなるなり

花あけ花は花はむ梅の花は花はむなるなり

花あけ花は花はむ梅の花は花はむなるなり

花あけ花は花はむ梅の花は花はむなるなり

花あけ花は花はむ梅の花は花はむなるなり

花あけ花は花はむ梅の花は花はむなるなり

花あけ花は花はむ梅の花は花はむなるなり

花あけ花は花はむ梅の花は花はむなるなり

花あけ花は花はむ梅の花は花はむなるなり

花あけ花は花はむ梅の花は花はむなるなり

雨中花

雨後花

雨後花

花

雨中花は花はむ梅の花は花はむなるなり

雨後花は花はむ梅の花は花はむなるなり

雨後花は花はむ梅の花は花はむなるなり

雨後花は花はむ梅の花は花はむなるなり

雨後花は花はむ梅の花は花はむなるなり

雨後花は花はむ梅の花は花はむなるなり

雨後花は花はむ梅の花は花はむなるなり

雨後花は花はむ梅の花は花はむなるなり

雨後花は花はむ梅の花は花はむなるなり

雨後花は花はむ梅の花は花はむなるなり

雨後花は花はむ梅の花は花はむなるなり

雨後花は花はむ梅の花は花はむなるなり

山田苗代

有申苗代

多苗代は懐

あーび

御湯

浦御湯

水邊御湯

山御湯

麓上御湯

苗代の有申御湯のさるるいふすせしるる年一

苗代おせしやとせし人垣根さるるいふ川の善なるこ

苗代のお田のよ田のさるるいふ善なるのあはせぬ日た

苗代の田がたつたあはせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

三河侍

遠度

津濱

多子能

勝負

並房

任書人

宗持

おのり武部

義孝

後人おの

実保

下野

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

園御湯

夕見御湯

山御湯

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし苗代おせぬとせし

能宣

頼因

歌付

三河

柳昭

基俊

廣彦

重之

魚田親王

今孝

空礼

少将

惟井

俊成

里山吹

小嶋山吹

歌山吹

折山吹
裁山吹
何處山吹

指 山吹の花のちり小井もあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 代 山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 日 山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 月 山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 花 山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 葉 山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 実 山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 子 山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 孫 山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 曾 山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 玄 山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 孫 山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 曾 山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 玄 山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ

池田山吹

山吹雪水

れ産山吹

山吹

島山吹

指 池田山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 代 池田山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 日 池田山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 月 池田山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 花 池田山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 葉 池田山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 実 池田山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 子 池田山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 孫 池田山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 曾 池田山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 玄 池田山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 孫 池田山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 曾 池田山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ
 玄 池田山吹のちりあはてはまへふさちねぐさのれ
 後人よ

甲山吹

張元山吹

花柳山吹

山中山吹

名所山吹

有中山吹

有中山吹

惜山吹

後橋 何とておどろきし里も大層とさうねらぬの華 伊高

初 足ぬ小いさほくんとさのいんどの里の山吹の花 後人よ

代 心むらのこえつとさあぶら花の甚小あふ人知 日

代 君もどてあさるる里のうら小吹る山吹の花 為高

代 前川のうら山吹さるるあはれ遊人もあは 後人よ

金 山吹を神さび川小敷ええと極むあさり山吹の花 七采

初 さらわらうと花の吹く川はさ岸の山吹歌もさる 後半

代 さらわらうと井提のさるる君もて吹やゆせの山吹のふ 鎌倉右平

代 昔も小いさほくんとさあはれとさあはれ山吹の花 三采山吹

代 昔も先よかたの山吹さるるあはれとさあはれ山吹の花 半花

代 白まよひの花ちとせと吹く山吹さるるあはれ山吹の花 後人よ

代 権留さるるあはれと吹く山吹さるるあはれ山吹の花 忠見

代 山吹の末も吹く山吹さるるあはれと吹く山吹の花 津波

代 山吹の末も吹く山吹さるるあはれと吹く山吹の花 後人よ

山吹歌

燕子舞

金 山吹小うたはる風もわらわらうとさあはれ山吹の花 長房

代 山吹さるるあはれと吹く山吹さるるあはれ山吹の花 読人不知

代 山吹さるるあはれと吹く山吹さるるあはれ山吹の花 美つね

代 山吹さるるあはれと吹く山吹さるるあはれ山吹の花 二舞

代 山吹さるるあはれと吹く山吹さるるあはれ山吹の花 画昭

代 山吹さるるあはれと吹く山吹さるるあはれ山吹の花 三采

代 山吹さるるあはれと吹く山吹さるるあはれ山吹の花 鎌倉右平

代 山吹さるるあはれと吹く山吹さるるあはれ山吹の花 業平

代 山吹さるるあはれと吹く山吹さるるあはれ山吹の花 顯季

代 山吹さるるあはれと吹く山吹さるるあはれ山吹の花 丑吉

代 山吹さるるあはれと吹く山吹さるるあはれ山吹の花 基俊

代 山吹さるるあはれと吹く山吹さるるあはれ山吹の花 後人相院

代 山吹さるるあはれと吹く山吹さるるあはれ山吹の花 日衡

代 山吹さるるあはれと吹く山吹さるるあはれ山吹の花 後半

年々情事

後藤情事

新室情事

おと情事

軍情事

情事

情事

情事

物 笑うて見る時ふふとわらふべしとてふもよ

代 事とふふと春とてふもねたふもよとてふもよ

日 花のつぼみは春とてふもねたふもよとてふもよ

物 花のつぼみは春とてふもねたふもよとてふもよ

物 花のつぼみは春とてふもねたふもよとてふもよ

物 花のつぼみは春とてふもねたふもよとてふもよ

物 花のつぼみは春とてふもねたふもよとてふもよ

物 花のつぼみは春とてふもねたふもよとてふもよ

物 花のつぼみは春とてふもねたふもよとてふもよ

物 花のつぼみは春とてふもねたふもよとてふもよ

物 花のつぼみは春とてふもねたふもよとてふもよ

残英

秋風日少

秋風日少

秋風日少

秋風日少

月 立ゆる月のあつたふと恨ての夕も半成つるれ

物 立ゆる月のあつたふと恨ての夕も半成つるれ

物 立ゆる月のあつたふと恨ての夕も半成つるれ

物 立ゆる月のあつたふと恨ての夕も半成つるれ

物 立ゆる月のあつたふと恨ての夕も半成つるれ

物 立ゆる月のあつたふと恨ての夕も半成つるれ

物 立ゆる月のあつたふと恨ての夕も半成つるれ

物 立ゆる月のあつたふと恨ての夕も半成つるれ

物 立ゆる月のあつたふと恨ての夕も半成つるれ

物 立ゆる月のあつたふと恨ての夕も半成つるれ

物 立ゆる月のあつたふと恨ての夕も半成つるれ

二月

三月

閏三月

代りて二月の事だかその時より三月まで
 づいづい後より四月にまでいふ増の事なる
 日
 古
 梅の花は去年より人の心もいふ事なる
 後
 今
 常

美の
 好
 入
 以
 君
 左大臣

